

## 行政評価外部評価の実施方法について（案）

## 1 実施根拠

江別市自治基本条例

(行政評価)

第 15 条 市長等は、効果的かつ効率的な行政運営を図るため、行政評価を実施し、その結果を施策等に反映させるとともに、市民に分かりやすく公表するものとする。

2 市長等は、市民、専門家等による外部評価の仕組みを整備するよう努めなければならない。

## 2 基本的な実施方針

第 6 次江別市総合計画における行政評価外部評価制度のあり方検討結果報告書（別冊 1）

(江別市行政評価外部評価委員会 平成 27 年 2 月策定)

(要約)

【論点 1】	外部評価の種類（方式） 内部評価結果の検証により評価の質を向上させる分析強化型の手法を基本としつつ、必要に応じて事業の改善を求めていく市民協働型の要素も取り入れた方式とする。
【論点 2】	外部評価の対象 「えべつ未来戦略」を基本的に外部評価の対象とし、加えて、「まちづくり政策」からも、市が重要度等を勘案して対象事業を選択する。また、市が選択した事業以外にも外部評価委員会の意見で対象とすることができる。
【論点 3】	外部評価の対象の選定方法 第 6 次総合計画は、5 年後を目途に見直しを検討することとしていることから、それまでの 3 年間で 4 つの戦略全てを計画的に選定し、評価対象とする。
【論点 4】	外部評価の視点 ①市の資料・説明は丁寧で分かりやすいか ②対象・意図・手段のつながりは適切か ③成果指標の変動要因や事業の課題の把握ができていないか ④戦略プロジェクト等の方向を示す指標は適切か

3 前回の評価結果総括

第6次江別市総合計画における行政評価外部評価結果報告書（平成27～29年度）（別冊2）

（江別市行政評価外部評価委員会 平成30年1月報告）

【要約】

内部評価に対する指摘等	外部評価に対する提言
①市民にとって分かりやすい記載	
<p>専門用語を用いた分かりにくい表現や説明が不足している記載が数多く見られた。</p> <p>また、事業の沿革や現状が分からない事業が散見されたので、事業を取り巻く状況が市民にも見えるような内部評価を心掛けていただきたい。</p>	
②成果を測る適切な指標の設定	
<p>進捗状況を示す適切な指標の設定に努めていただきたい。また、成果を数値で表すことが適当でない事業については、読んだ市民が理解しやすい文章での成果の記載について、取り組んでいただきたい。</p>	
③十分なPDCAサイクルによる評価・改善	
	<p>行政評価外部評価については、担当部局へのヒアリング調査を中心とした制度運用に取り組んでいただきたい。</p>
	<p>外部評価結果については、現在翌年度の事務事業評価結果に反映させる運用となっているが、当該年度から反映できるような外部評価制度の設計を検討願う。</p>



今後の外部評価において改善状況を検証



外部評価の実施方法を改善

外部評価の視点（「あり方」論点④）（見直し案）

- 市民にとって分かりやすい記載
  - ・分かりにくい専門用語や説明不足の有無
  - ・事業を取り巻く状況についての適切な説明
- 成果を測る適切な指標の設定
  - ・進捗状況を示す適切な指標の設定
  - ・数値で表すことができない成果の文章説明

4 行政評価外部評価の実施方法（案）

(1) 行政改革推進計画に基づく実施

【行政改革大綱及び行政改革推進計画 体系図（抜粋）】

行政改革大綱		行政改革推進計画
基本目標	取組方針	取組項目
1 市民参加と協働による行政運営		
2 意識と能力の高い職員による柔軟な行政運営		
3 健全な財政と行政サービスの向上を両立させた行政運営	(4) 行政評価の充実	① 行政評価外部評価の充実

● 行政評価の充実

取組項目	① 行政評価外部評価の充実					
取組内容	PDCAサイクルによる行政評価の中で市民が参加する外部評価制度を充実させる。					
指標①	行政評価外部評価の効果的な手法の実施					
	初期値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		検討	実施	→		

【2019年度の検討結果（内部協議）】

- 行政評価外部評価は、行政改革推進計画に基づき計画的に推進する。
- 行政改革推進計画に定める他の取組項目等と一体的に推進するため、市民公募委員も含めて設置される行政改革推進委員会にて外部評価を実施する。  
(従来設置していた行政評価外部評価委員会を廃止し、同業務を行政改革推進委員会に移管する。)

(2) ヒアリングを中心とした外部評価

前回の外部評価（H27～H29）では、評価事業数が多数（40事業）に上ったため、書面調査のみとする事業と所管課にヒアリングを行う事業に区分した。また、ヒアリング対象の事業においても、事業数が多いことからヒアリング時間が短時間にとどまった。

今回は、評価する事業を抽出したうえで、評価事業全てに対してヒアリングを行うとともに、ヒアリングにあたって一定の時間を確保するよう努める。

事業の選定	【前回(H27～H29)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>戦略</th> <th>プロジェクト</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	戦略	プロジェクト	事業数	1	2	8	2	4	19	3	2	10	4	1	3	計	9	40	<p>全40事業を評価</p>	【今回(R2～R4)(案)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>戦略</th> <th>施策</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	戦略	施策	事業数	1	2	5	2	3	9	3	2	8	計	7	22	<p>施策から1事業を選定して評価(=7事業)</p> <p>※必要に応じて事業を追加</p>
	戦略	プロジェクト	事業数																																				
	1	2	8																																				
	2	4	19																																				
	3	2	10																																				
4	1	3																																					
計	9	40																																					
戦略	施策	事業数																																					
1	2	5																																					
2	3	9																																					
3	2	8																																					
計	7	22																																					
ヒアリング	【前回(H27～H29)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価事業</th> <th>ヒアリング実施</th> <th>ヒアリング時間(1事業あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40事業</td> <td>20事業(50%)</td> <td>約15分</td> </tr> </tbody> </table>	評価事業	ヒアリング実施	ヒアリング時間(1事業あたり)	40事業	20事業(50%)	約15分	<p>⇒</p>	【今回(R2～R4)(案)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価事業</th> <th>ヒアリング実施</th> <th>ヒアリング時間(1事業あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7～10事業</td> <td>同左(100%)</td> <td>20～30分</td> </tr> </tbody> </table>	評価事業	ヒアリング実施	ヒアリング時間(1事業あたり)	7～10事業	同左(100%)	20～30分																						
	評価事業	ヒアリング実施	ヒアリング時間(1事業あたり)																																				
40事業	20事業(50%)	約15分																																					
評価事業	ヒアリング実施	ヒアリング時間(1事業あたり)																																					
7～10事業	同左(100%)	20～30分																																					

(3) 外部評価結果の迅速な反映

前回は、評価事業数が多数であったため評価作業に要する期間が長く、外部評価に基づく改善が反映されるのは翌年度以降となっていた。

今回は、評価事業を抽出することにより評価にかかる期間を短縮化し、可能な限り当該年度の内部評価（毎年2月頃に実施する新年度予算）から反映できるよう努める。

